

姫路市水道ビジョン 施策目標に係る指標値（令和6年度実績）

(1) 強靱：災害に強く安定した「強靱」な水道

①施設・管路の計画的更新と耐震化

指標	意味	R4	R5	R6	中核市平均 (R5)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2～R6	後期 R7～R11		
管路老朽化率 (老朽管延長)	管路老朽化の状況	30.4% (909,868 m)	32.7% (981,626 m)	34.6% (1,039,105m)	28.8%	33.2%	40.9%	47.4% (R16)	法定耐用年数を経過した管路 延長÷管路総延長
管路更新率	管路の老朽化対策	0.64%	0.60%	0.61%	0.70%	0.80%	0.67%	1.00% (R26)	管路更新延長÷管路総延長
浄水施設耐震化率	浄水施設耐震化状況	11.6%	11.6%	11.6%	41.8%	11.6%	11.6%	81.0% (R51)	耐震化能力÷全施設能力
配水池耐震化率	配水池耐震化状況	53.4%	53.4%	53.4%	67.6%	53.5%	53.4%	84.5% (R51)	耐震化容量÷全施設容量
基幹管路耐震適合率	管路の耐震化状況	33.2%	33.5%	34.1%	54.3%	36.2%	42.5%	100% (R51)	耐震適合性基幹管路延長÷基 幹管路総延長
全管路耐震適合率	管路の耐震化状況	44.3%	45.1%	45.7%	—	47.4%	50.0%	94.2% (R51)	耐震適合性管路延長÷管路総 延長

②災害対策の推進

指標	意味	R4	R5	R6	中核市平均 (R5)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2～R6	後期 R7～R11		
配水支管が耐震適合性を有する重要給水施設の箇所数	危機管理対策	18箇所	19箇所	21箇所	—	12箇所	64箇所	84箇所 (R16)	
緊急遮断弁による貯留量	危機管理対策	45,000 m ³	45,670 m ³	45,670 m ³	—	45,000 m ³	45,670 m ³	47,000m ³ (R16)	
応急給水量の確保	危機管理対策	6日分	6日分	6日分	—	6日分	6日分	7日分 (R16)	確保水量÷全市民使用水量 (緊急時)
応急給水施設密度	危機管理対策	1.9箇所 /100km ²	1.9箇所 /100km ²	1.9箇所 /100km ²	—	1.9箇所 /100km ²	2.2箇所 /100km ²	2.5箇所 /100km ² (R12)	応急給水施設数÷(現在給水面積÷100)

(2) 安全：いつでも「安全」で良質な水道

①給水装置における水質保持

指標	意味	R4	R5	R6	中核市平均 (R5)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2～R6	後期 R7～R11		
鉛製給水管率	水質の保持	3.6%	3.3%	3.0%	—	3.2%	1.8%	0% (R15)	鉛製給水管使用件数÷給水栓数

(3) 持続：将来にわたって「持続」可能な水道

①経営基盤の強化

指標	意味	R4	R5	R6	中核市平均 (R5)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2～R6	後期 R7～R11		
経常収支比率	経営の健全性	111.2%	114.0%	109.6%	111.8%	111.8%	108.2%	100.0% (R51)	経常利益÷経常費用 ※長期前受金戻入を除く。
資金残高対事業収益比率	資金の余力度	74.9%	82.9%	109.6%	89.8%	56.3%	39.5%	44.2% (R51)	現金・預金残高等の額 ÷経常利益
企業債元利償還金対料金収入比率	債務の重さ	14.8%	14.9%	14.4%	25.9%	14.7%	15.4%	8.8% (R51)	企業債元利償還金÷料金収入
経費回収率	経営の効率性	103.5%	106.4%	102.4%	104.3%	104.2%	101.3%	100.0% (R51)	供給単価÷給水原価
経常利益対営業収益率	収益性	10.1%	12.3%	8.8%	3.1%	10.5%	7.6%	7.2% (R51)	経常損益÷営業収益 ※長期前受金戻入を除く。

②組織体制の適正化

指標	意味	R4	R5	R6	中核市平均 (R5)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2～R6	後期 R7～R11		
職員数 (うち技術職員数)	定員の適正化	120人 【40人】	118人 【42人】	119人 【43人】	124人	120人 【37人】	125人 【45人】	126人 【49人】 (R30)	※会計年度任用職員は除く
職員一人当たりの 有収水量	定員の適正化	449,603 m ³ /人	452,439 m ³ /人	451,451 m ³ /人	399,965 m ³ /人	437,995 m ³ /人	411,024 m ³ /人	344,725 (R30) m ³ /人	有収水量÷損益勘定職員数 (会計年度任用職員は除く)

③環境負荷の低減

指標	意味	R4	R5	R6	中核市平均 (R5)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2～R6	後期 R7～R11		
浄水発生土再生利用率	資源の有効活用	61.5%	58.9%	67.3%	—	70.0%	80.0%	80.0% (R11)	再生利用土量÷浄水発生土量